

第16回アジア太平洋 最高裁判所長官会議



【セッションでコメントする寺田長官】

平成27年11月6日から9日までの間、オーストラリアのシドニーで第16回アジア太平洋最高裁判所長官会議が開催され、寺田逸郎長官が出席しました。この長官会議は、2年に1度、アジア太平洋の国や地域の最高裁判所の長官等が集まって各国の司法や裁判所に関する問題について話し合うもので、今回は、オーストラリア、中国、ロシア、韓国、インド、シンガポールなどの東南アジア諸国や太平洋の国々など31の国や地域の最高裁判所の長官等が出席しました。会議では、国民から信頼される公正な司法を維持していくために長官がどのような役割を果たすべきかといった普遍的なテーマから、外部の専門家の意見や知識を裁判にどのように生かしていくかというテーマ、ITを用いた新しい裁判官研修の在り方など、9つのテーマで活発な議論が行われました。

寺田長官は、裁判所と裁判手続に対する国民の信頼の構築をテーマとするセッションに

おいて、裁判所の運営について有識者をメンバーとした委員会など外部の様々な意見を取り入れていること、裁判官の研修において科学的な証拠など専門的知識に関するプログラムが行われていること、裁判員制度が導入されて裁判が国民の皆さんにより分かりやすいものとなったこと、小中学生の皆さんに対する法教育など我が国の裁判所が行っている取り組みについて紹介しました。また、寺田長官は、セッションにおける議論や社交行事を通じて、多くの国や地域の長官等と意見交換をし、交流を深めました。



【休憩時間中の意見交換】